

# 福島 12 市町村に暮らせば

福島県浜通りの今

12市町村産のお酒の  
振る舞いがあるかも...

「福島」を知る、トークショー

原発事故で避難指示が出た町に住む人たちに聞く



【島 美紀さん】(双葉町)

埼玉県出身。JR大宮駅前の東日本各地域の特産品を集めた店舗「まるまるひがしにほん」に勤務するうち、福島や浜通り地方への愛着が高じ、2022年に移住。「双葉町結ぶ会」副代表として、住民同士の親睦や情報発信を図る。



【尾崎 哲哉さん】(浪江町)

滋賀県出身。心の病を患うが、知人のついで浪江町に滞在したところ、症状が軽減。2021年に移住し、東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)や町の交流拠点に勤務。「がんばらない復興」を目指して地域活動にも携わる。



【ブケ・エミリーさん】(大熊町)

2011年、フランスから来日。18年に会津地方を訪れて自然の美しさや人の温かさに感動、会津若松市などで暮らした後、無農薬・無肥料の農業を志して大熊町に移住。赤べこや双葉ダルマを描くイラストレーターとしても活躍する。

2011年3月の東日本大震災、福島第一原発事故から間もなく13年。避難指示が出されるなどした福島県の12市町村<sup>\*</sup>は現在、帰還困難区域を除いて全ての自治体で居住が可能になっています。当地には様々な課題と向き合いながらも、気負いなく暮らす帰還住民や移住者たちの日常があり、「新しいまち」の風景を構成しています。

本イベントではパネル展「『被災地』福島 十二人の12年」に登場する3町在住の3人を招き、移住のいきさつや日頃の何気ない生活についてお話していただきます。

原発事故後の福島や「処理水」海洋放出に絡んで浜通り地方の現状に関心があり、一度現地を訪れてみたい方々のご参加をお待ちしています。

<sup>\*</sup>田村市・南相馬市・川俣町・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村

▼こちらにもぜひお出かけください

東日本大震災パネル展「被災地」福島 十二人の12年  
2024年2月3～9日 9:00-17:00 (最終日は14:00まで)  
隅田公園リバーサイドギャラリー (東京都台東区花川戸1-1)

主催 福島大学  
地域未来デザインセンター・相双地域支援サテライト

2024  
日時 **2/10** 土 14:00～16:00

会場 **クラフトビレッジ西小山** (ハジマリルーム)  
東京都目黒区原町1-7-8  
※東急目黒線西小山駅徒歩1分



福島大学  
キャラクター  
めばえちゃん

※クラフトビレッジ西小山内店舗購入品以外のお持ち込みはご遠慮ください

定員 **20人** お申し込みは  
こちらから▶  
**入場無料・事前申込制**



お問合せ

福島大学地域未来デザインセンター・相双地域支援サテライト (富岡サテライト)  
〒979-1112 福島県双葉郡富岡町中央2丁目83 とみおかワーキングベースJ号室  
TEL: 0240-23-6675 e-mail: r411@ipc.fukushima-u.ac.jp



相双地域支援サテライト  
キャラクター  
そうそう君